**2022年度 第4回「ぶんせき」編集委員会　議事録（案）**

【日時】2022年10月26日（水）14：00～17：00（Webexによるオンライン会議）

【出席者（敬称略）】勝田（記）、津越、坂牧、東海林、菅、富岡、村居、田中、宮下、市場、谷合、山崎、稲川、岡村、堀田、森山、三浦、照井、高橋、永谷、中原、森、佐藤（慈）（事務局）、保倉（出版事業担当副会長）

【欠席者（敬称略）】菅沼、福島、岩井、齊藤、松神、野間

配布資料

議題\_2022年度第4回編集委員会

資料番号1\_2022年度第3回ぶんせき編集委員会議事録案

資料番号2\_原稿入手状況\_進捗

資料番号3\_目次2022年11号初\_\_ノンブル\_1025

資料番号4\_目次2022年12号初\_\_1025

資料番号5\_2023特集テーマ案策定

資料番号6\_説明文案\_2023表紙図

資料番号7\_再録集編集\_進捗状況（221020）

勝田委員長の議事進行により、以下審議が行われた

1．前回議事録の承認　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ［資料番号1］

2022年度第3回ぶんせき編集委員会議事録は異議なく承認された

2．原稿依頼・入手状況の報告　　　　　　　　　　　　　　 ［資料番号2］

1）とびら・談話室・博士論文要録［勝田委員長］

とびら：2023年7号まで執筆依頼済み（6号を除く）。

談話室：投稿1件あり（No.39）。No.35～39, 41掲載可。No.40査読中。

博士論文要録：No.1掲載可。執筆候補者の推薦を委員に依頼。

2）リレーエッセイ・トピックス・話題・こんにちは・特集（2022）

リレーエッセイ（村居幹事）： 2023年１号まで掲載可。同年4号まで執筆依頼済み。

トピックス（坂牧幹事）：順調だが、No.81は3月に査読意見を送付後、修正稿が来ない。９月に小委員長から執筆者へ連絡したが、委員長からも連絡してもらう。

話題（菅幹事）：No.35著者修正中。No.36, 37掲載可。No.42執筆依頼。

こんにちは（津越理事）：No.16への対応が遅れていたが、最近掲載可とした。No.17掲載可。No.18（高橋委員提案）の取材・執筆担当者を後日依頼する。

3）解説・展望・講義，入門講座（2023）［菅沼副委員長（代理：勝田委員長）］

解説：No.23, 24 執筆依頼済み。No.25掲載可（講義No.12から変更）。

展望： No.8掲載可。

講義： No.16執筆依頼済み。他に投稿の申し出が1件あり、それについて承認した。

入門講座（2023）：No.1～3, 7, 9, 11掲載可。No.4, 5, 8査読中。No.6, 10, 12原稿待ち。

4）ミニファイル（2023）［富岡幹事］

No.1, 3, 7, 9, 11原稿待ち。No.1は急ぐ必要があるため、小委員長から著者に催促する。

No.2, 6, 8, 12 掲載可。No.4査読中。No.5, 10著者修正依頼中。

5）その他［事務局］

インフォメーション：理事会だよりは、2021年度第6回と2022年度第1回は無しで、8号に2022年度第2回を掲載予定

その他：最近投稿された中国・四国支部だよりがリストから漏れているため、事務局に確認してもらう。

3．2022年 第11号・第12号掲載予定　　　　　 ［資料番号3，4］

第11号　事前にメール会議で検討済み。

第12号　技術紹介：副題の～を－に変更（2か所）。

　　　　トピックス（2番目）：「ヒト生体試料中化学物質」を「ヒト生体試料中の化学物質」に変更。

　　　　リレーエッセイ：括弧を半角から全角に変更。

4．2022年第11号・第12号ホームページ掲載記事　　　 ［資料番号3，4］

第11号　とびら、特集（1番目・4番目）、技術紹介、こんにちは、リレーエッセイ、報告、談話室

第12号　とびら、話題、技術紹介、リレーエッセイ、報告、談話室

5．2023年特集のテーマについて［村居幹事］　 ［資料番号5］

前回の編集委員会で各委員から出されたテーマを4班に大別し、各班でテーマをしぼって具体化した旨が説明された。

各班の題目案とメンバーは下記の通り。

1班：「令和の分析化学教育」

津越，東海林，菅，岡村，岩井，福島　　（代表代理：村居）

2班：「食品分析の新機軸」

宮下，田中，坂牧，市場，野間，齊藤，松神　　（代表：宮下）

3班：「ものづくりを支える（or牽引する or 推進する）分析化学」

森，菅沼，勝田，永谷，三浦，照井，村居　　（代表： 森）

4班：「センシング，AI化，DX，自動化分析」

稲川，中原，富岡，山崎，高橋，堀田，森山　　（代表：稲川）

各班の代表委員による説明の後、質疑討論を行った。後日、電子投票により2023年特集のテーマを決定し、その後小委員会を結成する予定。

また、勝田委員長より、2023年特集に選ばれなかった案については、2024年の入門講座、ミニファイル、特集のテーマを決める際に再度検討してほしいと依頼があった。

6．2023年表紙について［勝田委員長、永谷委員］　　　　 ［資料番号6］

図案の説明文（2023年1号掲載予定）について説明があり、承認された。

また、表紙の背景を白、文字を黒（あるいはそれぞれ明色、暗色）の組み合わせで、いくつか見本を印刷書に作成してもらい、それを見て最終案を決めることになった。

7．「ぶんせき」誌 再録集vol.2, vol.3について［菅幹事］　 ［資料番号7］

各巻の表表紙、目次、進捗状況、今後の予定について説明があった。現在は編集したPDFを最終チェック中で、11月中旬から下旬に出版予定（アマゾンのオンデマンド出版）とのこと。また、出版後に各記事の著者に「再録のご連絡」という形でメール連絡する予定。

8．次年度編集委員の件［勝田委員長］

　2022年度で退任予定の編集委員（支部選出委員を除く）に対して11月中に後任委員推薦に関するメールを送るので、後任委員候補者を推薦してほしい（ただし、まだ内諾は取らないように）との依頼があった。次回の編集幹事会で専門分野等を考慮して候補者について審議する予定。

9．その他［勝田委員長］

・9月の年会でのブース出展に関する報告と協力に対する御礼があった。次年度の討論会・年会へのブース出展については、次期編集委員会に申し送る予定。

・ScholarOneManuscriptシステムを次年度も継続して契約予定との説明があった。また、委員より、当システムの利用法に関し査読者（閲読者）がword原稿を参照できると良いという意見があった（現状ではPDFに変換された原稿しか見れず、フォームが変化して見づらい場合がある）。これについて、委員長が杏林舎に問い合わせることになった。

・2022年10号談話室の記事（野本前編集委員）における提案について、次回以降に検討したいので一読願いたいとの依頼があった。

・次回の編集委員会で、2023年特集、2024年入門講座、2024年ミニファイルについて企画趣旨・執筆候補者の議論をする予定なので、各小委員会でそれらの案を検討願いたいとの依頼があった。

＜次回編集委員会は2023年1月開催の予定＞

以上